2019/02/15

矢筈ヶ岳から太神山縦走ハイキングの記録

１：集合時間・場所　　平成 31 年 2 月 14 日（木）　JR 石山駅　8 時 45 分集合
２：参　加　者　　乾、小松、西井、万井、森、山田、山本、杢三　8 名
３：持　ち　物　　弁当･水筒･双眼鏡・ストック・手袋・図鑑等々
４：行　　程　　JR 石山駅～湖南アルプス登山口バス停・・富川林道・・富川林道分岐・・御仏河原・・矢筈ヶ岳分岐・・出会峠・・矢筈ヶ岳山頂・・出合峠・・太神山参道出合・・二尊門・・不動寺（昼食）・・太神山山頂・・不動寺・・太神山参道出合・・泣き不動・・地蔵堂・・太神山登山口・・迎不動・・湖南アルプス登山口バス停～JR 石山駅（解散）
５：行　程　距　離　　行程距離　11.53Km　歩行数　25641 歩　　歩行時間　約 5 時間

６：行　程　概　要　　JR 石山駅でゆったり組の 2 名の方とで会いました。本日の参加者は 8 名です。湖南アルプス登山口バス停まで約 20 分ほどです。北アルプス、南アルプス、中央アルプス等々日本にはアルプスと名前のつく山脈・山地はたくさんあります。今回は滋賀県にある湖南アルプスを訪れることにしました。3 月には加西アルプスを歩く予定です。

JR 石山駅でバスを待つ

湖南アルプス登山口バス停

登山口バス停から天神川に沿った富川林道を歩きました。富川林道分岐で服の調整を行い、本日登る山の源流域についての説明を行いました。天神川は瀬田川に注ぐ大戸川の支流です。そのため天神川の水は琵琶湖には流入していません。この富川林道分岐から本格的な山道となります。ごろごろした岩のあるところや岩場があります。また、昨年の台風のためか大きな岩が山道を防いでいるところもあります

←　富川林道分岐

→
タラヨウがありました

岩場のあるところに出てきました。ぬれている岩を避け慎重に登りました。岩場を通り抜けるしばらく進むと御仏河原に着きました。ここでしばらく休憩を取った後、矢筈ヶ岳への道に進みました。

岩場を歩く

天神川源流域

矢筈ヶ岳への山道

空から白い誇りのようなものが落ちてきました。雪でした。歩いている時には感じないのですが、休憩すると寒いです。粉雪はしばらくあると止みました。

やっとのことで出合峠に着きました。荷物を置いて山頂まで登りましたが、結構きつい山道で息が上がります。山頂は台風のため樹木が倒れそのため展望がよくなっています。

矢筈ヶ岳山頂記念写真１

矢筈ヶ岳山頂記念写真２

山頂から早々に下山しました。荷物が心配です。イノシシにとられそうな気がしましたが何事もなく良かったです。出合峠から太神山への道を進みます。アップダウンを何回か通過し、太神山参道の道に出ました。ここからは道は緩やかです。二尊門で最後の休憩を取り不動寺に着いたのは 12 時 15 分頃でした。予定通りです。昼食後、太神山山頂記念写真を撮り下山することにしました。

二尊門で休憩

太神山山頂　→

14 時 55 分のバスに乗るため時間調整をしながら下山しました。二尊門からしばらく進んだところに泣き不動がありました。良き見てみるのですが泣いているようには見えません。快適な尾根道を進んでいると左手に登ってきた矢筈ヶ岳らしい山が見えます。

泣き不動

双耳峰の矢筈ヶ岳

どんどん下山し、地蔵堂でまた休憩を取りました。この山は 10 月から 11 月にかけては入山禁止の張り紙があります。マッタケ山なのです。下見に来たときそのことを知らず、太神山登山口近くまで来たのですが富川分岐まで引き返し矢筈ヶ岳から登ることになったのです。本日は入山禁止でもありませんから太神山登山口から登ることもできたのです。

地蔵堂で休憩

迎不動で最後の休憩を取る

バス停には 14 時 45 分頃に到着しました。バスは来ていましたが、乗せてくれませんでした。仕方がないのでしばらく待ちバスに乗車して JR 石山駅に向かいました。駅で解散しました。

←　全員無事に湖南アルプス登山口バス停に帰ってきた

次回は 3 月 21 日（木）　加西アルプスです。

文責　杢三